

水試の

何でも魚ツキング

No.57

皆さんお久しぶりです

4月から水産試験場にお世話になって
いる松井です。2年間の淡水生活を経て再び
海水に戻ってきました。いったいどんな魚
だ？単身赴任中も酒田には定期的に帰って
きていたので、庄内が懐かしいと言うこと
はないですが、”浜”は別物です。すっか
り堪能し、どっぷり浸かっています。

2年ぶりの感想について少し書こうと思
います。私も年を取ったけど、皆さんもそ
れなりでした。亡くなられた方も何人か
らっしやって、寂しい思いがします。若い
時にはずいぶん鍛えられたものでした。底
びきの漁師さんに若い人がいっぱいいて、
誰が誰やらじっくり見ないと分かりませ
ん。世代交代もかなり行われているよう
です。また、インドネシアの若い人たちが酒田で
研修をし、中型イカ釣船に乗り込み、出漁
していききました。元気に頑張って欲しい
ものです。海はというと、ハタハタの小さい
のが多いし、ヒラメも多く獲れたし、イナ
ダが連日山のように揚がっています。あと、
ソウハチ（ガンブツ）とオキナマコが目新
しく映ります。前にこんなに揚がったっけ
か？2年間アユの仕事の手伝いもしていた
ので、海産稚アユの動向も気になりました。
今年はいくつみたくて後は遡上がうまくい
きますように。5月も20日を過ぎたのに、い
か釣り船がさっぱり見られず6月も4日に
やとまとまった水揚げがありました。発
行日までいてくれるといいんですが。

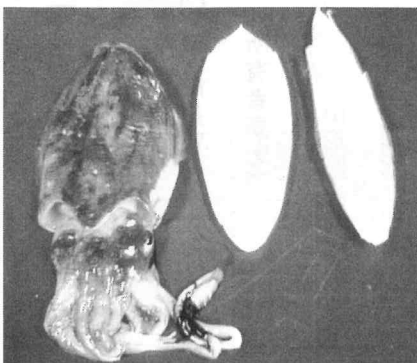
ガソリンの単価もさることながら重油や
軽油など油の値上がりやすさまじい勢いで

す。陸上なら遠出を控えるとか、急なこ
をしない、アイドリリングをストップするな
どで何とか対応してますが、船で沖に出な
いと収入の道がない漁業にとっては我々の
想像を超える大変さがあると思います。な
るべく回転数を上げない操船が望まれます
余り遠くまで行けないと言うことでアラ場
の魚に対する漁獲圧が増加しないか心配で
す。

浜の散策（現代風に言うところビーチコーミ
ング）が趣味で、以前このコーナーにも原
稿書いたことがあります。去年の勤労感
謝の日には、長年の夢だった”たるいか”
をゲットすることができました。今年は5
月の末、コウイカやヒヨウモンコウイカの
貝殻がずいぶん打ち上げられていました。
甲長20センチにもなる大物ですので、これ
が全て水揚げされたらいいお金になるん
でしょうね。定置網には入っている（単価67
円/kg）ので全く利用されてないわけでは
ないみたいです。イナダもコウイカも私
がいた平成17年にも同じ時期に多く獲れて
いました。浜に出るとよく聞かれるのが海が
変でないかという
ことです。変の中
身も水温だったり、
魚の獲れ具合だっ
たり、生息水深だ
ったり。記憶は直
ぐに無くなるもの
ですから、気づい
たら書き留めるか、
教えて下さい。個
人的には異常気象
とか異変は毎年の



タルイカ、獲ったぞー！



左の2つはコウイカ、右はヒヨウモンコウイカ

水産試験場 松井 俊二

ように起こり、恒常的に変に成ってきてい
ると思います。
今年、すいさん山形の水産試験場の編集
委員もしていますので、280号に対する反応
を書きます。まず、ベニグリについては3
件問い合わせがありました。サナダミズヒ
キガニへの反応は無し。寒ダラの雌雄判別
についてはかなり以前から要望が寄せられ
ていますし、水産試験場への新規の要望は
5件という結果でした。ありがとうござい
ました。ベニグリは5月の調査でも漁獲し
たので、”しぐれ煮”にしてみました。おい
しかったです！

最後になりましたが、6月5日最上丸が
調査中に海中に網を落とすという事故を起
こしました。発生後3日半にわたり、しば
りによる駆け引きと底びきによる回収を試
みましたが、回収できませんでした。皆さ
んの漁場に網を残したままで申し訳ありま
せん。付近で操業し、何か気づかれまし
たら水産試験場の松井まで連絡下さい。よろ
しくお願ひします。